

第2章 第2次計画の最終評価

「第2次健康おおだて21」の計画の最終年度に、市民への「健康づくりアンケート調査」や各種健診（検診）事業などの結果をもとに評価し、国や県の状況などと比較しながら分析を行いました。

1. 評価の方法

健康目標と分野別目標の指標項目について、策定時の基準値と最終評価値（直近値）との比較を行い、その達成状況を下記の基準により評価しました。

数値基準 計算方法

$$\frac{\text{【最終評価値】} - \text{【基準値（計画策定時の値）】}}{\text{【目標値】} - \text{【基準値（計画策定時の値）】}} \times 100$$

評 価		数値基準
◎	目標を達成	100%以上
○	策定時より改善	10%以上 100%未満
△	変化なし	-10%以上 10%未満
×	策定時より悪化	-10%未満
—	評価ができない (基準値を中間評価時設定としていた指標)	

2. 健康寿命の延伸

単位：年

		H22年	R2年	H22年からR2年までの増加分
健康寿命	男性	77.23	77.83	0.60
	女性	83.25	84.00	0.75
平均寿命	男性	78.5	79.7	1.2
	女性	86.5	87.2	0.7

H22年からR2年までの期間における差 (健康寿命の増加) — (平均寿命の増加)	男性	女性
	-0.6	0.05

●評価の概要

令和2年の健康寿命は、平成22年から男性0.60年、女性0.75年延び、平均寿命は男性1.2年、女性0.7年延びました。目標としている「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」を、女性は達成できましたが、男性は達成していません。

3. 健康目標の達成状況

(1) 達成状況

	指標数	目標を達成 ◎	策定時より改善 ○	変化なし △	策定時より悪化 ×
がん	2				2
脳血管疾患	2				2
急性心筋梗塞	2		1		1
高血圧	2				2
脂質異常症	2		1		1
糖尿病	4	1	1		2
メタボリックシンドローム	2				2
自殺・こころの健康	2				2
該当数（率）	18	1 (5.6%)	3 (16.7%)	0	14 (77.7%)

(2) 指標の評価

標準化死亡比での比較

	指標	区分	基準値 (A)		最終評価値 (B)		(B)-(A)	最終評価
			H20年～H24年		H25年～H29年		変化値	
			市	参考(県)	市	参考(県)		
がん	がんの標準化死亡比	男	111.9	108.2	115.4	110.3	3.5	×
		女	101.5	100.4	105.3	103.1	3.8	×
脳血管疾患	脳血管疾患の標準化死亡比	男	114.9	128.0	125.2	133.1	10.3	×
		女	114.8	120.4	146.7	128.8	31.9	×
虚血性心疾患	急性心筋梗塞の標準化死亡比	男	66.5	71.5	63.1	97.6	-3.4	○
		女	63.8	70.6	70.1	97.5	6.3	×

指標の変更

これまで年齢調整死亡率で比較していましたが、人口規模が少ない市町村では、変動が大きく信頼の高い数値を得ることは難しいため、標準化死亡比（SMR）で比較することが推奨され、最終評価で変更しました。標準化死亡比（SMR）とは、人口動態データを用いて算出され、全国を基準（100）とした場合、その地域での年齢を調整した上での死亡率（死亡の起こりやすさ）がどの程度高い（低い）かを表現するものです。標準化死亡比が100より大きい場合、その地域の死亡比は全国より高い、100より小さい場合、全国より低いと判断されます。最終評価値（B）と基準値（A）の変化値（B-A）がプラスの場合は悪化、マイナスの場合は改善と評価しました。

	指標	区分	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
高血圧	収縮期血圧の平均値	男	130mmHg	131mmHg	134mmHg	126mmHg	×
		女	126mmHg	127mmHg	132mmHg	122mmHg	×
脂質 異常症	LDLコレステロール160mg/dl 以上の人の割合	男	6.8%	6.6%	6.3%	5.1%	○
		女	8.6%	9.8%	10.8%	6.5%	×
糖尿病	高血糖状態者の割合 (HbA1c6.5%)	男	11.2%	11.7%	10.8%	8.4%	○
		女	5.2%	4.5%	6.4%	3.9%	×
	血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.4%)	男	1.85%	1.15%	0.64%	1.57%	◎
		女	0.43%	0.68%	0.45%	0.37%	×
メタボリック シンドローム	メタボリックシンドローム該当者・ 予備群者の割合		27.1%	27.8%	※R3 35.2%	20.3%	×
	特定保健指導対象者の減少率		—	18.2%	17.1%	20.0%	×
自殺	自殺率（人口10万対）		14.3	19.1	※R3 17.6	13.5	×
	気分障害・不安障害に相当する心理的 苦痛を感じている人の割合		9.6%	9.6%	12.2%	9.4%	×

●評価の概要

- ・がんの標準化死亡比、脳血管疾患の標準化死亡比は男性、女性とも悪化しています。
- ・虚血性心疾患の標準化死亡比は、男性は改善していますが、女性は悪化しています。
- ・高血圧は、男性、女性ともに悪化しています。
- ・糖尿病は、男性が目標を達成しています。女性は、脂質異常症、糖尿病の指標が悪化しています。
- ・自殺は、策定時より悪化しています。
- ・自殺・こころの健康では、健康づくりに関するアンケート調査結果からも、コロナ感染症流行前と現在を比較し、「精神的ストレス（不満、悩み、苦勞、イライラ等）」が増えたと回答した割合が多くありました。

4. 分野別目標項目ごとの評価

(1) 栄養・食生活 ～望ましい食生活を実践するを増やします～

指標	区分	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
毎日朝食を食べている20歳代の割合		60.8%	66.7%	64.0%	70.0%	○
1日2回以上「主食、主菜、副菜」のそろった食事をしている人の割合		中間評価時 設定	44.3%	37.8%	80.0%	×
野菜を1日350g以上食べていると思う人の割合		中間評価時 設定	36.4%	34.0%	42.0%	×
減塩や薄味を実行している人の割合		中間評価時 設定	55.9%	48.1%	84.0%	×
肥満者の割合(BMI25.0以上) 40～69歳	男	29.7%	35.8%	38.9%	28.3%	×
	女	21.6%	21.8%	25.6%	20.8%	×
小学生 肥満度20%以上の割合	男	12.55%	12.77%	14.42%	7.20%	×
	女	10.58%	9.99%	11.50%	6.20%	×

(2) 身体活動・運動 ～日常生活の中で、意識してからだを動かすを増やします～

指標	区分	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
1回30分以上の軽く汗をかく運動を 週2回以上1年以上実施している人の割合 (国民健康保険特定健康診査結果)	男	39.2%	41.6%	41.5%	49.0%	○
	女	33.0%	37.1%	37.1%	43.0%	○
1回30分以上の軽く汗をかく運動を 週2回以上1年以上実施している人の割合 (健康づくりアンケート調査20～50歳代)	男	23.3%	19.8%	18.2%	33.0%	×
	女	11.4%	9.9%	7.9%	21.0%	×
日常生活において歩行又は同等の身体活動 を1日1時間以上実施している人の割合 (国民健康保険特定健康診査結果)	男	69.1%	67.5%	51.0%	79.0%	×
	女	68.4%	67.6%	56.3%	78.0%	×
ロコモティブシンドロームを知っている 人の割合		中間評価時 設定	44.0%	42.5%	80.0%	△

(3) こころの健康・自殺予防 ～健やかなこころを支えます～

指標	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
睡眠によって休養が十分とれていない人の割合	17.5%	23.1%	20.1%	15.0%	×
精神的ストレスがあったとき、積極的 ストレス対処行動をとる人の割合	中間評価時 設定	80.6%	78.9%	80.6%	△
困ったとき相談者がいない人の割合	11.1%	23.0%	22.1%	6.0%	×

(4) たばこ ～たばこを吸わない人を増やします～

指標	区分	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
20歳以上の習慣的に喫煙する人の割合	男	33.2%	30.8%	30.4%	20.7%	○
	女	9.4%	9.8%	9.7%	5.9%	△
たばこが及ぼす健康への影響について知っている20歳未満者の割合	中学生	中間評価時 設定	95.9%	97.5%	100%	○
妊婦の喫煙率		5.0%	1.5%	0.4%	0%	○
たばこが及ぼす健康への影響について知っている人の割合	COPD	37.0%	36.4%	37.7%	80.0%	△
	歯周病	31.6%	28.5%	29.5%	80.0%	△
	妊娠	67.1%	68.8%	58.0%	80.0%	×
受動喫煙による健康への影響について知っている人の割合		中間評価時 設定	91.6%	90.8%	91.6%	△
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭	中間評価時 設定	19.6%	15.9%	5.8%	○
	職場		23.3%	16.9%	0.0%	○
	飲食店		27.6%	9.0%	18.5%	◎

(5) アルコール ～アルコールの特性や適正な飲酒についての知識を普及します～

指標	区分	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合		中間評価時 設定	26.0%	26.4%	80.0%	△
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	男	16.4%	25.2%	23.2%	10.3%	×
	女	10.6%	17.4%	15.5%	7.1%	×
飲酒が及ぼす健康への影響を知っている20歳未満者の割合	中学生	中間評価時 設定	91.4%	97.5%	100%	○
妊婦の飲酒率		4.1%	2.6%	0.8%	0%	○

(6) 歯・口腔 ～口腔への関心を高め、歯と口腔の健康づくりを推進します～

指標	基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
3歳でう蝕のない人の割合	74.3%	76.7%	84.9%	90.0%	○
12歳児の1人平均う蝕数	1.22本	1.05本	0.30本	1.00本未満	◎
過去1年間に歯科検診を受けている人の割合(20歳以上)	中間評価時 設定	44.9%	51.4%	65.0%	○
夕食後の歯磨きをする人の割合(義歯の洗浄を含む)	80.8%	77.5%	73.1%	90.0%	×
60歳代で24本以上自分の歯を持っている人の割合	27.5%	21.9%	33.9%	70.0%	○

(7) 健診（検診） ～定期的な健診（検診）の重要性を啓発し、受診者を増やします～

指標		基準値 H24年	中間評価値 H29年	最終評価値 R4年	目標値 R5年	最終評価
国民健康保険の特定健康診査受診率		28.3%	28.0%	32.5% ^{**R3}	38.0%	○
国民健康保険の特定保健指導実施率		9.1%	7.8%	5.0% ^{**R3}	20.0%	×
胃がん検診受診率（40歳以上）		7.8%	7.9%	7.0%	50.0%	△
大腸がん検診受診率（40歳以上）		16.0%	17.4%	17.8%	50.0%	△
肺がん検診受診率（40歳以上）		14.7%	12.9%	12.9%	50.0%	△
子宮がん検診受診率（20歳以上）		23.2%	16.9%	31.8%	50.0%	○
乳がん検診受診率（40歳以上）		16.9%	14.7%	36.0%	50.0%	○
前立腺がん検診受診率 (50・55・60・65・70歳)		16.8%	17.9%	4.7%	50.0%	×
肥満者（BMI25.0以上）の割合 (40～69歳) <再掲>	男	29.7%	35.8%	38.9%	28.3%	×
	女	21.6%	21.8%	25.6%	20.8%	×
腹囲の基準値を上回る人の割合 (40～69歳)	男	47.4%	49.6%	59.0%	45.4%	×
	女	17.0%	18.8%	25.6%	15.6%	×
収縮期血圧の平均値（mmHg） <再掲>	男	130mmHg	131mmHg	134mmHg	126mmHg	×
	女	126mmHg	127mmHg	132mmHg	122mmHg	×
LDLコレステロール160mg/dl以上 の人の割合 <再掲>	男	6.8%	6.6%	6.3%	5.1%	○
	女	8.6%	9.8%	10.8%	6.5%	×
高血糖状態者の割合 (HbA1c6.5%) <再掲>	男	11.2%	11.7%	10.8%	8.4%	○
	女	5.2%	4.5%	6.4%	3.9%	×
血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.4%) <再掲>	男	1.85%	1.15%	0.64%	1.57%	◎
	女	0.43%	0.68%	0.45%	0.37%	×
胃がん検診精密検査受診率		87.4%	88.0%	87.6% ^{**R3}	100%	△
大腸がん検診精密検査受診率		75.9%	72.3%	72.4% ^{**R3}	100%	×
肺がん検診精密検査受診率		71.4%	80.8%	89.9% ^{**R3}	100%	○
子宮がん検診精密検査受診率		91.5%	100%	100% ^{**R3}	100%	◎
乳がん検診精密検査受診率		95.6%	96.7%	96.6% ^{**R3}	100%	○
前立腺がん検診精密検査受診率		45.5%	53.1%	71.4% ^{**R3}	100%	○

●評価の概要

・分野別にみると「たばこ」「歯・口腔」は、「目標を達成」と「策定時より改善」の指標が半数以上であるのに対し、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「こころの健康・自殺予防」では、策定時より悪化の指標が半数以上でした。